



新羽小だより

令和6年(2024年) 9月27日
第 607 号
横浜市立新羽小学校
Tel 543-8871・8872
Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa>

横浜子ども会議

校長 佐藤 恵子

横浜市では、毎年市立全学校の代表児童生徒が参加して、「横浜子ども会議」区交流会が開催されます。「横浜子ども会議」は子ども主体のいじめの未然防止の取組として「だれもが安心して生活できるよう、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会」を目指し、児童生徒が話し合う場です。代表児童生徒は、各学校のこれまでの取組を共有し、自分たちができることについて意見交換をします。そして自校に戻り、いじめが起こらない学校にするために自分たちに何ができるかを全校に問いかけ、各学年や学級での取組につなげます。

今年度港北区では、8月28日に城郷小机地区センターに区内市立全学校の代表児童生徒が集まり、区交流会が開催されました。新羽小からも2名の代表児童が参加しました。

港北区交流会の内容を受けて、本校では、各学級で、いじめの未然防止をねらいに、子どもたちが主体的に考えを交換し合う授業を行いました。



9月18日(水)2・3時間目、1年生では「もっと いごちをよくするには」をテーマに、グループで話し合いました。まず、「いごちがいい」をひもとき、「うれしい」「やさしい」「おちつく」などの別のことばで言い表しました。次に、そんなクラスを作るために自分たちができることを、グループのメンバーを替えながら伝え合いました。「やさしくする」「言い方に気を付ける」など相手意識を大事にする発言と、「授業の時間を大事にするために体育の着替えを早くする」や「場所によって声の大きさに気を付ける」など、状況判断ができる人になって学級満足度を上げたいという意見が聞かれ、頼もしさを感じるとともに考える力の成長に感心しました。

同日5時間目、6年1組と2組は2クラス合同で道徳の授業を行い、「いじめ」について話し合いました。まず、いじめとは何か、どこで起こるのか、なぜ起こるのかについてグループで話し合いました。軽い気持ちや無意識によりいじめが起こることがあると気づき、「いじめ」は身近でどこにでも起こるものだけれど、命にかかわる重大な問題だと認識した場面でした。続いて、チームスポーツでよく起こるようなメンバー同士のやり取りの事例を読み、そこに見える課題について話し合いました。自分だったらどうするのか、見ている人はどうしたらよかったのか、その場に何が足りなかったのか、深く掘り下げながらグループ討議を進めました。



「何かおかしい。」と鋭くキャッチする人権感覚、相手意識、自分たちで解決していこうとする主体的で前向きな姿勢、よりよい自分をつくっていこうとする向上心は、一人ひとりが自分らしく生きていくために育んでいきたい大切な資質です。今後も、引き続きいじめ防止への取組を通して、誰もが安心して過ごせる学校づくりを子どもたちとともに進めていきたいと思います。